



第 25 回例会報告 (1月8日)

【出席報告】

・会員数	53名	・出席数	41名	・欠席数	12名
・当日出席率	82.22%	・前々回修正出席率	100%		
<欠席会員>原、平田、飯、木原、森岡、村上(裕)、田中、竹田 [免除会員] 青野(明)、原田、檜垣(巧)、宮本 <12/11 欠席補填>(12/9 今治南)檜垣(俊)、眞鍋 (12/16 今治南)平田、菅、木村、桑森、村上(裕)、渡辺、矢野 (12/22 今治北)木原					

◇乾杯挨拶・高木会員の挨拶で年明けの乾杯

◇会長報告・新会員推薦者への記念ピンを尾越会員へ贈呈しました。

◇幹事報告・2014-15年度下半期年会費の納入をお願いします。詳細はFAXにてご連絡します。

・ご協力頂きました「防災フェスティバル」への募金は21,500円となりました。ご協力ありがとうございました。

・1月のロータリーレートは1ドル118円です。

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・檜垣直孝会員：10日で56歳になります。ちょうど1年前、インフルエンザで40度の熱が出て1週間休んだ。その反省から忘年会は連チャンを避け、予防接種もして新しい年を迎えることができた。2月で赴任4年目、6月でロータリーも4年。1年経つのは早い。悔いのないよう1日1日を大事に頑張っていきたい。

新年の抱負【2015年を迎えて】

◆村上裕一会員(重松宗孝幹事代読)：年男でことし48歳。四捨五入で50歳。子ども時代、オジサンというよりおじいさんという印象だった年齢になってきた。心理学者ユングは人生の折り返し点を40歳ごろと考え、「人生の正午」と呼んだ。これ以降は少・青年期に価値あることとしてきたことと逆のことが起こり、これに混乱するのが「中年の危機」といわれる現象だそうだ。中年期は仕事や家庭などでストレスがのしかかる。自分もイライラしたり体力が落ちたり、周囲に迷惑をかける面倒なオヤジになってきている自覚がある。まずは健康第一ということで、本格的なことは無理でも徐々にやっつけていこうと思っています。

◆桑森ひとみ会員：うちの家は母も私も娘も未歳生まれ。父は「きみたちはカミをよく食う家のものや」と言い続けていた。年女の抱負は「健康第一」。しんどかったら休んで、体力を回復させ、「一生懸命働いて一生懸命遊ぶ」のモットーを実践したい。将来にわたっての抱負は「人生はアドベンチャー」。振り返れば大学入試で医学部に落ち法学部に入ったのも、就職せず司法試験を目指したのもアドベンチャー。主人と結婚したときお互い司法試験には受かっていなかった。しかし弁護士になり、独立し、今治に事務所を開設することもできた。これから先、どんなアドベンチャーが待っているのか楽しみでワクワクする。それを受け入れられる体力、気力が残っているよう頑張りたい。



◆西信正男会員：60歳で還暦といえば、昔は赤いちゃんちゃんこで長寿の祝いをしたが、いまは寿命が延びて通過点になった。正月のテレビ番組が長寿研究を取り上げていた。30年後人間の寿命は100歳になるのだとか。若返りの薬はマウス実験で効果があり、22カ月(人間の60歳相当)のマウスに与えると6カ月(人間の20歳相当)のマウスのように細胞が若返ったという。ただ人間への効果は別問題。試薬は0.1グラム4万円する。今後、再生医療とかボタン操作で細かな作業が可能なロボット手術、腹腔鏡手術が主流になっていくだろう。抗がん剤をナノマシンに組み込んで大量にターゲットに到達させる手法やビッグデータを活用した予知医療なども注目を集めている。



次回例会(1月15日)

【社会奉仕委員会アワー】

<会員誕生日祝>	越智 健司氏 (1/19)	河野 通則氏 (1/20)	木原 盛展氏 (1/21)
	竹田 春夫氏 (1/21)	山本 剛氏 (1/27)	
<結婚記念日祝>	小堀陽一郎氏 (1/15)	河野 通則氏 (1/20)	平尾浩一郎氏 (1/20)

[笹]